

宇吹萌

アンフアン・ポトフ

【登場人物】 *登場順

マシユー

神父

少女

メアリー

ときは三〇一二年。

人口爆発による世界的な飢饉に見舞われ、人々はビタミン剤の配給で生活している。

物語は、ニューヨークにある教会の裏庭と聖歌隊隊長のマシューが派遣された第三国を交互しながら進行する。

教会の裏庭と第三国は別々の舞台空間でも同じ舞台上でも構わないが、シーンの転換は出来る限り迅速に行われたい。

1

聖職者らしき男（以下「マシュー」）が闇に浮かぶ。

何者かに電話をしている。

マシュー　メアリーさん、メアリーさん！？大変なことになりました！（・・・）第三聖歌隊隊長のマシューです。（・・・）私以外、全員奴らにつかまりました！（・・・）誰ってミサの参列者にです。（・・・）私ですか？歓迎会のホットドッグにあたってしまって。それが不幸中の幸いでした。ヒムの途中で抜けてトイレから戻ると、ソプラノの前列が若い衆に縛りあげられていたんです！地主らしき大男の指揮でメゾとアルトも正固めにされて、呆気にとられる間もなく全員裏庭に連行されました！（・・・）そうですね、そうですね。深呼吸、深呼吸。こういうときこそ深呼吸。（・・・）女子供を除いても五百人は確実にいます。皆一様に物欲しそうな表情で、目に輝きがありません。力仕事の賜物でしょうか、生氣はなくても腕力は充分。五人がかりで一人を相手にしてもかないそうありません。（・・・）出迎えてくれた村長の握力の強さが尋常でなかったことにもっと警戒すべきでした。七百二十歳であの力強さ。待てよ。そんなことより、あんな上等なホットドッグが振る舞われるなんてどう考えたって不自然だろう。それを呑気に食あたりするまでパクパクパク。己の食い意地と読みの浅さが恨めしい。（・・・）中身ですか？肉汁滴る柔らかさ……。凶鑑で見たより小さめでしたが、あんな美味しいものがかつては一般食だったなんて。（・・・）私ですか？気づかれています。（・・・）スタンドグラスの裏です。（・・・）そうです。祭壇後方の。（・・・）ええと……。西瓜の集合体みたいな微妙な葡萄とシャンプーハットみたいな微妙な茨を被ったイエス様のスタンドグラスです。ガラス越しに裏庭の様子がよく見えます。あれ、何だ？（・・・）プラカードが掲げられています。（・・・）何語でしょう。読めません。（・・・）もしもし？もしもし？（・・・）あれ？（・・・）メアリーさん？メアリーさん！？（切れる）

三〇一二年、ニューヨーク。

アップパーイーストにある教会の裏庭のベンチに少女が座っている。
ピルケースいっぱい錠剤を一気飲みしようとする。

神父、来る。

少女、ピルケースを隠す。

神父 随分我慢しましたね。せっかくそれだけ貯めたのに一気に飲んでしまったのは勿体ない。どうせオーバードーズするなら、一粒ずつ味わって飲んだらどうですか。来月の配給まであと二週間もあります。それまで飲むものが何もなくなってしまったら、衰弱してしまいますよ。

神父、少女の隣に腰掛ける。

神父 お名前は？

少女 ・・

神父 この教会に来るのは初めて？

少女 先月引越して来たばかりです。

神父 気に入りましたか。この街は。

少女 メトロに乗ればどこへでも行けるし、コンサートやミュージカルが毎晩あつて飽きることはありません。街行く人はせっかちだけど、いざという時には必ず手を差し伸べてくれます。世界経済の中心でありながら、美術館や公園にも恵まれていて・・なのに私はどこへ行っても何を見ても食べることしか頭にないんです。・・私なんていつそのこと餓死したほうがましなんです。

神父 ・・と言いますと、そんなにお若くして食べ物を食べた経験がおありなのですか？

少女 いいえ。単なる無いものねだりです。

神父 失礼ですがおいくつですか？

少女 百十七歳です。食べるって一体どんな感じだろうって、そのことばかり考えてしまつて・・この飢饉の時代に、私は救われない罪人です。

神父 自分を責めないでください。こうして懺悔に来たではありませんか。

少女 最後に来たのは四十年前でした。私の信心は偽物です。

神父 それでもあなたは今日、こうして来た。

少女 あの。

神父 何ですか。

少女 神父さんは、何か食べ物を食べたことありますか？

神父 それはまあ、私も今年で五百六十歳になりますから。

少女 あの。

神父 何でしょう。

少女 リンゴを食べたことはありませんか？

神父 ありますよ。

少女 ・・差し支えなければ、どんな味だったか教えていただけませんか？

神父 味ですか。

少女 はい。

神父 そうですね、何と申し上げたらよいのやら・・例えるならば、失くした時間が暮れかけた夏の夜空に浮かんでいるような味です。

少女 失くした時間が暮れかけた夏の夜空に浮かんでいるような味、ですか。

神父 そうです。

少女 失礼ながら、夜空は暮れないと思います。

神父 例えばの話ですよ。

少女 例えばの話。

神父 バイブルスタディーへの参加は？

少女 この街に来てから二度目です。

神父 なるほど。まだ初心のようですね。言葉を言葉通りにしか解釈おできにならない。言外のメッセージを汲む能力は聖書講読に不可欠だというのに。

少女 ・・すみません。

神父 気にかけることはありません。初心の頃はみんなそうです。真理を心の眼で読み解いてゆく。簡単なことではありません。簡単なことではないからこそ、バイブルスタディーがあるのです。

少女 向上します。

神父 それでこそ神の子です。さあ、祈りましょう。

神父、目を瞑り合掌。

少女、目を開けたまま。

少女 ・・あの。

神父 何ですか。

少女 リンゴのことなんですけど・・

神父 まだ何か。

少女 どんな食感だったかも教えていただきたくて・・。

神父 表皮はとても滑らか、そのくせ噛むとシャキツとしていました。

少女 シャキツと。

神父 歯ごたえがあることを当時そう表現していたんですよ。

少女 リンゴって硬派な果実だったんですね。

神父 硬派なだけではありません。生真面目なその歯ごたえの下には、魂まで潤す黄金の果汁を湛えているんです。リンゴは正に奇跡のフルーツでした。

少女 奇跡のフルーツ・・・。

神父 ユニオンスクエアのマーケットで、新鮮なものが売られていたのを思い出します。毎週ミサの帰りに途中下車して、リュックいっぱい買い込んだものです。当時は一ドルほどで赤いリンゴも青いリンゴも食べきれないほど手に入りましたから。

少女 食べきれないほど・・・。

神父 ところがそのうち飽きてしまうんです。そんなときは、アップルパイやアップルジャムにして食べました。アップルサイダーなんて飲み物もありましたっけ。あれはニューヨークのリンゴ園でできたものをいただくのが一番。

少女・・・

神父 失礼。リンゴの話が過ぎたようですね。そんなに肩を落とさないで下さい。世の中リンゴが全てではありません・・・そうだ。チョコレートの話をしましょう。チョコレートの存在かな？

少女 凶鑑で見たことがあります。

神父 あれほど品質の良し悪しが顕著なお菓子はありませんでしたよ。スーパーで売られているような安物は砂糖とカカオパウダーのバランスが悪くてよろしくない。そこでチョコレートに関しては、手ごろなものを食べるのではなく、高級なものをたまに味わおう、というのが私のポリシーでした。ホテルの高級デザートビュッフェなんでものがありましてね。会場の入り口付近には大抵大きなチョコレートファウンテンが設けられていたものです。その名の通り、チョコレートが噴水のように流れていましたよ。

少女 噴水のように。

神父 何度見ても見事な光景でした。カカオの芳醇な香りを充満させながら、優雅にとろけ落ちるチョコレートに、オレンジや葡萄、バナナなど季節の果物をつけていただくのです。人呼んでチョコレートフォンデュ。

少女 チョコレートフォンデュ。

神父 よだれを垂らさないでください。また会場の入り口です。お楽しみはこれから。メインテーブルを想像してみてください。そこには目に余るほどのスイーツが所狭しと並べられています。世界中の高級デザートがよりどりみどり。

少女 世界中の高級デザートがよりどりみどり。

神父 なかでもクリームチーズのムースとリンゴのゼリーをふんわり焼き上げたスポンジに乗せたトウルトオポムには頬つぺたが落ちました。

少女 頬つぺたが落ちる。

神父 美味しくとろけてしまいそうなることを当時そう表現していたんですよ。

少女・・・

神父 失礼。図らずもまたリングゴの話になってしまいましたね。

少女 素材をどう生かすかはシェフの腕のみせどころ。同じ素材でも調理法によってまったく違ったものに変身してしまうのが食べ物の世界の奥深さだったと読みました。

神父 人間に個性があるのと同じです。

少女 焼き菓子にも色々あったと聞きます。フィナンシェというのはアーモンドと焦がしバターを焼いたもの、ビスコッティは二度焼きされたもの、同じビスコッティでもカントッチョはビスコッティにアーモンドを入れたものことです。

神父 これまたよくご存知で。

少女 クリームやムースについても知っています。サバヨンソースは白葡萄酒と卵黄と生クリームとゼラチンで作られていて、サンブーガーは香草入りの洋酒をベースにしています。

神父 思い出すだけで一日があつという間に過ぎてしまいそうです。

少女 ガトーショコラにショコラフィナンシェ、キャラメルポワール、カラメルマスカルポーネにマルジョレーヌに、ロツシエノワール。クリスマスにはブツシウドノエルなんて季節物もありました・・・そしてシャルロットオポワールは、軽いビスキュイキュイェールにポワールのムースを入れてやわらかく仕上げた上質なケーキ。

神父 いやはや驚きました。お若いのにとてもよく勉強されている。

少女 私、シャルロットって言うんです。

神父 シャルロット。

少女 そうやって名前を呼ばれるたびに、シャルロットオポワールを食べてみたくなってしまいます。父との初デートで食べた思い出のケーキがシャルロットオポワールだったからなんて安易な理由で名づけられてしまいました。シャルロットオポワールのことが頭を離れなくなると、同じポワールのカラメルポワールも食べてみたくなって、カラメルポワールのことが頭を離れなくなると、同じカラメルのカラメルマスカルポーネも食べてみたくなってしまつて・・・

神父 泣かないで。泣いたら駄目です。全ては所詮、古き良き時代の忘れ形見です。古き良き時代の忘れ形見に前途洋々たるあなたの青春を嘆いてはなりません。

少女 古き良き時代。

神父 そう。いまの世の中だつて、必ず古き良き時代になるのです。千年たつてみてごらんなさい。リングゴひとつとビタミン剤一粒が同じ価格になっていてもおかしくない。こうしてビタミン剤が市民に配給されていた時代があつただなんて羨ましいと溜息をつかれるようになるでしょう。

少女 千年後の世の中なんてまるで想像がつかえません。

神父 世の中は大して変わりません。このあたりだつてさほど変わっていない。動物園がなくなつたくらいです。この教会も昔からただここに在るだけ。変わるのは人間です。人は

ただそこに在るものを作っては破壊する。愛しあっていたかと思えば裏切りあい、傷つけあい、殺しあう。わかりますか。変わらないのは神の愛だけなのです。人間のつくる移り気な時代に苦悩するか、永遠に変わらない神の愛に立つか。あなたはどちらを選択しますか、お嬢さん。

少女 神の愛に立ちます。

神父 それでこそ神の子です。苦しいときにこそ気づきを得るのですよ。「主よ。私はどうしたらよいのでしょうか」とは新約聖書の使徒の働きの中でのパウロの言葉です。

少女 新約聖書。

神父 救いを求めるだけの信心を捨て、嘆きを気づきに変えたとき、パウロは自らの運命を切り拓いていったのです。

少女 嘆きを気づきに変える、ですか。

神父 この飢饉にあなたは何を気づきますか。

少女 ・食べ物汚れます。

神父 オーイエス。

少女 食べ物は汚れます。しかも腐ります。

神父 オーイエス、オーイエス。

少女 虫歯の原因にもなりますし、太ります。

神父 イエスイエスイエス。

少女 料理するのが面倒です。食器代までかかります。

神父 ジーザスクライスト。

少女 争いの原因にもなります。胡椒戦争なんて馬鹿馬鹿しい戦争まで起きてしまったことがありました。

掃除婦らしき女（以下「メアリー」）が来る。

庭を掃いたり植え込みの手入れをしながら、神父と少女の様子をうかがう。

少女 食べ物は汚れるし腐るし太るし面倒です。

神父 オーイエス。

少女 食べ物のせいで人は争い殺しあいます。

神父 ジーザスクライスト。

少女 それに比べてビタミン剤は汚れません。汚れませんが腐りません。いつでもどこでも飲むことができます。テレビの前で飲んでもお行儀悪いと言われません。お皿を洗う手間も省けます。カロリーを気にする必要ありません。種類も豊富です。トースト味にミルク味、トマト味にチキン味。私たちの寿命も延びました。ビタミン剤は楽しい。ビタミン剤は最高。食べるわずらわしさから解放された今の時代に感謝します！配給生活万歳！

神父 オーイエス、ハレルヤ！

メアリー、呆れ顔で去る。

少女 私、こんなに晴れやかな気持ちになれたの久しぶりです。

神父 心より祝福します。おめでとう。

少女 神父さんのお陰です。

神父 あなたは純真な心をお持ちです。学びも早い。必ず主に守られますよ、シャルロット・おっと失礼。

3

マシユー、闇に浮かぶ。

何者かと電話している。

マシユー 「教会」という言葉だけは分かります。あとは何を意味しているのかが（・・・）
お願います。（・・・）悲惨の「非」、墮落の「墮」、不満の「不」・・あまり良いことでは
なさそうですね。（・・・）不満の「不」の後が愚直の「愚」・・次は何だか分かりません。
中途半端に波打った鶏冠みたいな絵です。待てよ。このシャンプルーハットもどきの茨に見
えなくもないな・・。それに続いて触覚を生やした猪が二頭並んで横転していてバツテン
がつけられています。（・・・）そうです。「非」の後が「墮」でその後が「不」と「愚」で
その次が微妙な鶏冠と並んで横転している触角を生やした猪二頭にバツテン。太くて大
きなバツテンです。強い意志だな。（・・・）そうです。それです。よく分かりましたね。
その破裂したトウモロコシみたいな文字の後が（・・・）確かに臍の緒だと言われればそう
見えなくもありませんが、どちらかと言えば顔のない蛇がとぐろを巻いているように見
えます。その絵にもバツテン。それにしてもバツテンが多いな。（・・・）隊員の歌声です。
迷える民衆のためにソプラノのリードでアメイジング・グレイスを歌っています。なんて
崇高なキリスト教精神。（・・・）あれれ？何するつもりだ？あ！（・・・）チャペルの鐘を
降ろしています！何て罰当たりなことを！（・・・）もしもし？もしもし？（・・・）あれ？
（・・・）メアリーさん？メアリーさん！？（切れる）

4

もとの教会の裏庭のベンチに少女と神父が座っている。

神父 世の中は大して変わりません。この辺だってさほど変わっていない。動物園がなくなつたくらいです。変わるのは人です。そんな人間の作る移り気な時代に前途洋々たるあなたの青春を嘆いてはなりません。変わらぬ神の愛に立ち、嘆きを気づきに変えるのです。

少女 嘆きを気づきに変える、ですか。

神父 嘆きを気づきに変える、です。

少女 私、こんなに晴れやかな気持ちになれたのは久しぶりです。神父さんのお陰です。

神父 あなたは純真な心をお持ちです。学びも早い。必ず主に守られますよ、お嬢さん。

少女 ひとつだけ。

神父 何ですか。

少女 折角の学びに反するかも知れませんが・・・。

神父 何でしょう。

少女 神父さんは、そのなくなつてしまった動物園に行ったことはありませんか？

神父 目玉はシロクマでした。

少女 閉園後に園内に忍び込んで柵を乗り越えた高校生を食べちゃったっていう。

神父 本人は悪ふざけのつもりだったのでしょうか。

少女 悪ふざけでそんなことをする時代があったなんて信じられません。お腹が空いてい

たわけでもなかったでしょうに。

神父 事件当時、シロクマは食用動物ではありませんでしたから。

少女 あんな大きな肉の固まりを觀賞用に飼っていた時代があったなんて。

神父 動物飼育の歴史が終焉を迎えるには事件から三百年待たねばなりません。問題のシ

ロクマの子孫が競売にかけられたとき、五億ドルで落札したのは噛み殺された少年の曾曾曾曾孫にあたる資産家でした。お金にも言わせた仇討ちだなんて騒がれて、連日ゴシップ誌の表紙を独占したものです。

少女 身内だけではとても食べきれなくて、シロクマ料理のレストランを開店したらいいですね。

神父 目玉は「シロクマバーガー」。

少女 クローン肉版でさえ八千ドルもしたというのに飛ぶような売れ行き。宣伝文句は「動物界を完全制覇」・・・なんて全部資料の受け売りですけど。

神父 いやはや再び驚きました。お若いのにとてもよく勉強されている。

少女 地上最強の哺乳類とされたシロクマを食べれば、食物連鎖の頂点に立ったも同然。シロクマの血肉となつたほかの動物も一緒に食したことになる。

神父 虫を魚が食べ、虫や魚を鳥が食べ、鳥を小動物が食べ、鳥や小動物をより大きな動物が食べ、最終的には体長二八〇センチ、体重八〇〇キロのシロクマに辿りつくというわけ

です。

少女 「動物界を完全制覇」。シロクマ料理は食物連鎖の頂点に立つ証、最高のステータスだったんですね。

神父 メインディツシユの最高峰とも言えましょう。

少女 メインディツシユの最高峰。

神父 レストランのコースメニューは食物連鎖同様、野菜や魚のアピタイザーとオードブルを食べなければ肉料理にありつけません。主役の肉料理をどう振舞うかによって店の評判が左右されたものです。

少女 素材をどう生かすかはシェフの腕のみせどころ。同じ肉でも調理法によってまったく違ったメインディツシユに変身してしまう。

神父 人間に個性があるのと同じです。

少女 ムニエールは小麦粉をつけてバターで焼くこと、ポワレは混ぜたり突ついたりせず鍋を動かしながら焼くこと、ソテーは油脂を利用してフライパンや鍋の中で混ぜながら焼くこと、リソレは表面を強火でカラメル化させることによって旨みを閉じ込める下処理の技法。

神父 いやはや三度驚きました。お若いのにとってもよく勉強されている。

少女 あの。

神父 何ですか。

少女 シロクマはどうやって焼かれたと思いますか？

神父 バーガーですから、まずはミンチにしてくださいね。

少女 失礼ながら、とても無理です。あんな分厚い肉。煮込んだんだと思います。ナヴァランは主に羊肉の煮込み料理に用いられた技法、他にもバスケーズ、コンポート、コンフィなんて技法もありました。あれだけ大きな肉の塊となれば、弱火で長時間煮込むミジヨモで煮込まれたんじゃないかしら。じっくり。じっくり。コトコト。じっくり。コトコト。

じっくり・コトコト・

神父 泣かないで。泣いたら駄目です。移りゆく時代の忘れ形見に前途洋々たるあなたの青春を嘆いてはなりません。こんなときこそ、変わらぬ神の愛に立って。

少女 変わらぬ神の愛に立って。

神父 嘆きを気づきに変えるのですよ、お嬢さん。

少女 こんなときこそ、嘆きを気づきに。

神父 あなたは純真な心をお持ちです。学びも早い。必ず主に守られますよ、シャルロット。

少女 オポワール・

神父 さあ、祈りましょう。

神父、目を瞑って合掌。

少女、目を開けたまま。

少女 ・ ・ シロクマは本当に地上最強の哺乳類と言えるのでしょうか？シロクマが地上最強だと言うなら「百獣の王」はどのような位置づけになりますか？

神父 オーイエス。

少女 シロクマとライオンの生息圏は真逆だったはずですよ。どちらが最強の哺乳類だったのかは両者を戦わせずしてはかりかねます。

神父 オーイエス、オーイエス。

少女 「動物界を完全制覇」との宣伝文句は真理に基づくものとは言えません。

神父 イエスイエスイエス。

少女 シロクマレストランは「看板に偽りあり」だと私は思います。

神父 ・ ・ ワン・モーメント・プリーズ。

少女 シロクマなんてどうでもいい。

神父 ワン・モーメント、ワン・モーメント。

少女 私はライオンが食べたい！

神父 ジーザスクライスト。

少女 私が本当に食べたいのは、ライオンですよ！私はライオンを食べるためにこの世に生を受けました。ライオンのコース料理を出してください！メインディッシュはライオン

ローズのローズマリープロシエツトで！

神父 ストップ。

少女 ライオンローズのローズマリープロシエツト。ローズマリープロシエツト。ローズマリー。ローズマリー。ローズマリー。 ・ ・

神父 オーケー、ストップ！

少女 ・ ・

神父 シロクマなんてどうでもいいとあなたは言いました。

少女 イエス、ファーザー。

神父 本当に食べたいのはシロクマではなくライオンだとも。

少女 イエス、ファーザー、イエス。

神父 言葉通りに解釈すれば、確かにあなたはそう言いました。シロクマなんてどうでもいい、私が食べたいのはライオンなのだ、と。

少女 イエスイエスイエス。

神父 その言葉の真意を私は聞きたい。何故ですか。どうしてそこまで拘るのですか。食物連鎖の南の王者に。ライオン料理であなたは何を満たすおつもりですか。満たしたいのは空腹ではないはずですよ。本当は、シロクマだってライオンだってどうでも良い。心の底ではそう思っただけですよ。そうでしょう。

少女 ・ ・ 神父さんに隠し事はできませんね。

神父 話してください。

少女 ・ ・ 怨みです。

神父 怨み。

少女 ・・ローズマリーって言う女でした。ローズマリー・ドランプ。

神父 ドランプ。

少女 そうです。地上最後のライオンを8億円で落札したあのダナルド・ドランプの曾曾曾曾曾曾孫です。彼女は現在ニュージャージー州のリンゴの木を受け継いでいます。次々と男を渡り歩いて一族の資産で遊び狂っているような自堕落女。リンゴ以外に何の取り得もないそんな女のために、父は母と私を捨てました。怨んでいます。この怨みが学びの積み木を焼き崩す業の大火になったとしても、燃え盛る炎を消すことはできません・・。

神父 心から祝福します。おめでとう。

少女 どうしてですか。

神父 目には見えない罪の縄目にあなたは手をかけることができましたのです。あとはその縄目を解いてゆくだけです。

少女 それだけでは気持ちがとても治まりません。

神父 ローズマリーさんにも事情があったのでしよう。いくら食物資産に恵まれていても、試練のない人生などありません。主はいつか必ず彼女に報いという名の働きを与えるでしょう。そして彼女は懺悔し、その働きに応答する歩みへと導かれてゆくのです。あなたはそのれを見守り、ご自身の罪ほどきに専念されればいい。

少女 ・・私が怨んでいるのは父です。ローズマリーさんではありません。・・今日も二人仲良く食べきれないほどのリンゴを持って余して、アップルパイやアップルジャムを作っていることでしょう。朝は新鮮なアップルサイダーで喉を潤し、ティータイムには、リンゴのゼリーをふんわり焼き上げたそのトゥルトオポムとやらを頬張っているに違いありません。母と私は、一日一粒の配給でギリギリの生活を送っているのに！ライオンは獲物の喉元を噛んで窒息死させたそうですね。エトウフェ。窒息死させられた素材を扱った料理をそう呼ぶのでしょうか。身も心もリンゴになった父の首を絞めてタルトにしたらどうかしら。タルト。パン。エトウフェ。フッフッフッフ。ときどき恐ろしくなります。

こんなに激しく人を怨むことができるなんて・・。

神父 食物時代、ケーキの切り分けかたが不平等だったがために母親を刺殺してしまった高校生がいました。桃の缶詰をおすそ分けしなかったという理由で我が子の公園デビューを阻止された母親もいました。ハンバーガーのレタスが一枚足りなかったという理由で店を訴えた客もいました。あなたの類を見ないその怨みは、かつて「食べ物の怨み」と呼ばれていた種のものです。どんな怨みよりも長く尾を引く厄介な怨みです。

引き続き何者かと電話している。

マシュー　チャペルの鐘が降ろされました！ひっくり返して立たせようとしています！いくらなんでもそれは無理でしょう。ところが、あ。立った。(・・) ジョナサンが代表で民衆に語りかけています。「気は高く、生活は質素」。さすが我が志。なんて崇高なキリスト教精神。(・・) 歌ですか？ちょうど三番に差し掛かったところです。琴線に触れるハ―モニ―。正に天使の歌声。(・・) ジョナサンが民衆に再び語りかけています。「私たちはあなたがたの心を満たすことはできても空腹を満たすことはできない」。あいつ何を言ってるんだ？(・・) ええっ！「世界的な飢饉の原因になった人口爆発を招いたのは随胎を禁じる教会のせいだ。責任をとれ」ですか！？そんな滅茶苦茶な！(・・) あれ、何だ？火事でもあったのでしょうか。バケツリレーの準備をしているようです。(・・) うわっ！バケツリレーで立たせた鐘に熱湯を注いでいます！早い、早い、早い。本物の山火事で鍛えたと思えない驚異のスピードです！(・・) ああっ！！ソプラノ前列が！ソプラノ前列が！(・・) 茹でられています！茹でられています！茹でられて・・ああっ後列も！もう一刻の猶予ありません！助けてください！早く助けてください！(・・) 祈るだけで助かるはずがないでしょう！祈るだけでは、みんな茹であがってしまいます！(・・) もちろんです、もちろん揺るぎありません。でも今はそれどころじゃないでしょう！(・・) 思わず興奮してしまいました。気づかれていますね。私まで気づかれましたらお終いですね。(・・) 歌ですか？だんだん声が低くなってきました。最後のサビを低く歌っています。それにしても低いな。あ、ロパクです。ソプラノにはもう声を出す力すら残っていません。ロパクしています。アルトが代わりに歌っています。歌詞がなんか違うな・・あ、レクイエムです。アメイジング・グレイスではなくレクイエムを歌っています！(・・) 思わず興奮してしまいました。気づかれていますね。私まで気づかれましたらお終いですねって言うより目が合いました。(・・) わかりました。笑顔。友愛精神で。今世紀最大の親愛の笑み。(・・) 向こうも満面笑みです。何かの同意が得られたかのような凄い笑みです。(・・) 私の笑顔が誤解されたようです。(・・) あ、危険。危険、危険！となりの奴の肩を叩いています。こっちを指さしています！(・・) はい、はい。深呼吸。こういうときこそ深呼吸、深呼吸。深呼吸・・(・・) あ！ああっ！！あああ！！！！

もとの教会の裏庭のベンチに少女と神父が座っている。

神父 あなたのその類を見ない怨みは、かつて「食べ物への怨み」と呼ばれていた種のものです。途方に暮れるような試練です。それだけ大きな試練を授けられたことに感謝ですよ。

少女 どうしてですか。

神父 主があなたに期待されている証だからです。

少女 そうなんですか・・・。

神父 心より祝福します。おめでとう。さあ、祈りましょう。

神父、目を瞑り合掌。

少女、目を開けたまま。

神父 どうなさいました？

少女 私はその祝福に値しません。

神父 謙遜する必要などないですよ。

少女 いいえ。まだお話ししていないことがあります。実はそのことを懺悔しに今日は来ました。・・・私、リンゴを食べたことがあるんです。一度だけ。

神父 そのことを懺悔しにおいでになったのですか。

少女 盗んだリンゴです。盗んだリンゴを食べました。・・・独立記念日の夜、別れた父親に会いに来た健気な娘を装って、そのまま敷地内で二人が寝静まるのを待ちました。・・・神父さんのおっしゃる通りでした。リンゴは、シャキッとした生真面目なその歯ごたえの下に、魂まで潤す黄金の果汁を湛えた奇跡のフルーツ。それは確かに、失くした時間が暮れかけた夏の夜空に浮かんでいるような味でした。

神父 失礼ながら、夜空は暮れないと思います。

少女 例えばの話だとおっしゃいましたよね。

神父 暮れてしまったのは夜空ではなくあなたの心のほうでしょう。あたりが暗くなるのを待たずして、あなたの心は既に漆黒の闇に覆われてしまった。

少女・・・リンゴを手にした瞬間から、いつか誰かに知られてしまうのではないかと怯えながら暮らす日々が始まりました。たとえ人には知られなくても、主は何もかもご存知です。そう思うと、恥ずかしくもありました。リンゴを手にしたあの瞬間から、丸裸にされたかのように恥ずかしくてたまりません・・・。

神父 善悪の知識の木に生る禁断の果実を口にしたアダムとイブは、自分たちが丸裸であることにそのとき初めて気がつかされました。すると神に守られたエデンの園での生活は一変し、苦悩に満ちた人間の生活へと彼らは墮とされてしまったのです。

少女 永遠に変わらないのは神の愛だけ。

神父 あなたはリンゴを口にするので、空腹を満たすことはできても心を満たすことはできなかつた。そうですね、お嬢さん。

少女 こんなときこそ、変わらぬ神の愛に立つ。

神父 あなたはリングゴを口にするので、空腹を満たすことはできても心を満たすことはできず、その真つ赤な背信の証に生活を支配されてしまった。そうですね、お嬢さん。

少女 こんなときこそ、嘆きを気づきに。

神父 あなたはリングゴを口にすることでその真つ赤な背信の証に生活を支配され、己の無力さを思い知らされてしまった。そうですね、お嬢さん。

少女 主よ。私はどうしたらよいのでしょうか。

神父 違います。神にお任せするのです。

少女 お任せする。

神父 全面的にお任せするのです。

少女 全面的に。

神父 聞けば聞くほど、あなたは何でも自分の力や努力で解決しようとしている。そしてどうにも解決できなくなると神に頼っています。神を拒否し、自分に頼れないときだけ神に頼っているのです。あまりに傲慢です。そのような状態では主は働かれません。

少女 私は一体どうしたら・・・。

神父 旧約聖書の詩篇一〇七篇には、絶望する人々が神を叫んで救われた、という話が繰り返されていきます。絶望してこそ人は全面的に神にお任せできるのですよ。さあ、絶望するのです。

少女 イエス、ファザー。

少女、目を瞑って合掌する。

神父、目を開けたまま。

神父 あなたはリングゴを口にすることで空腹を満たすことはできても心を満たすことはできなかつた。そうですね、シャルロット。

少女 ・・オポワール。

神父 あなたはリングゴを口にすることで空腹を満たすことはできても心を満たすことはできず、その真つ赤な背信の証に生活を支配されてしまった。そうですね、シャルロット。

少女 ・・オポワール。

神父 あなたはリングゴを口にすることでその真つ赤な背信の証に生活を支配され、己の無力さを思い知らされてしまった。そうですね、シャルロット。

少女 ・・オポワール。

神父 あなたはトゥルトオポムを口にすることでトゥルトオポムを満たすことはできてもフィナンシエを満たすことはできなかつた。そうですね、シャルロット。

少女 オフィナンシエ。

神父 あなたはビスコッティを口にすることでビスコッティを満たすことはできてもカン

トツチヨを満たすことはできず、そのカントツチヨなマスカルポーネに生活を支配されてしまった。そうですね、シャルロット。

少女 オマスカルポーネ。

神父 あなたはマルジョレーヌを口にすることで、そのマルジョレーヌなロッシェノワールに生活を支配され、ブツシユドノエルの無力さを思い知らされてしまった。そうですね、シャルロット。

少女 ドノエル。

神父 メリークリスマス！

少女、目を開ける。

少女 主よ。私は一体どうしたら良いのでしょうか。

神父 違います。シロクマにお任せするのです。

少女 お任せする。

神父 全面的にお任せするのです。

少女 全面的に。

神父 聞けば聞くほどあなたは何でもアピタイザーやオードブルで解決しようとしている。そしてどうにも解決できなくなるとメインディッシュに頼っています。シロクマを拒否し、ライオンに頼れないときだけシロクマに頼っているのです。あまりにタルト・パンです。そのような状態でローズマリープロシエットは働かれませんよ。

少女 私は一体どうしたら・・・。

神父 ムニエールのポワレ篇には、絶望するソターがリソレを叫んで救われた、という話が繰り返されています。ナヴァランしてこそバスケーズはコンポートにコンフィにミジヨモできるのですよ。さあ、じつくりコトコトするのです。

少女 イエス、ファーザー。

神父 サバラン・シャンティ・ナツペ・ド・サバヨン、ポワレ・ポワレ・ポワレ、ソター。

少女 イエス、ファーザー。ポワレ・ポワレ・ポワレ、ソター。

神父 ミモレットチーズ・シブスト・コンポート、リソレ・リソレ・リソレ、コンフィ。

少女 イエス、ファーザー。リソレ・リソレ・リソレ、コンフィ。

神父 アンファン・ポトフ・シユルプリーズ、ポシエ・ポシエ・ポシエ、エトウフエ。

少女 イエス、ファーザー。ポシエ・ポシエ・ポシエ、エトウフエ。

神父 あなたはまだ初心のようですね。言葉を言葉通りにしか解釈おできにならない。

少女 私は一体どうしたら・・・。

神父 神にお任せするのです。

少女 お任せする。

神父 全面的にお任せするのです。

少女 全面的に。

神父 オーイエス。

少女 ・・全面的に、お任せ、します！

神父 よろしい。では、口で犯した罪は口で償わなければなりません。

少女 口で犯した罪は口で償う。

神父 みことばを歌って伝えるのです。

少女 歌って伝える。

神父 オーイエス、オーイエス。

少女 聖歌隊に入隊すれば良いのでしょうか。

神父 イエスイエスイエス。

少女 分かりました。入隊します！

神父 オーイエス、ハレルヤ。

少女 私、こんなに晴れやかな気持ちになれたの久しぶりです。神父さんのお陰です。

神父 じっくりコトコトするのですよ。

少女 イエス、ファーザー。

少女、満ち足りた表情で去る。

その後姿を見送りながら、

神父 あなたは純真な心をお持ちです。学びも早い。必ず主に守られますよ、シャルロット。

ポトフ・シユルプリーズ。ポシエ・ポシエ・ポシエ、エトウフエ。

メアリー、来る。神父の隣に腰を降ろす。

メアリーの電話が鳴る。出る。

メアリー もしもし、マシユー？（・・・）マシユー？（切れる）残念。切れちゃったわ。

神父 第三聖歌隊か。

メアリー 隊長のマシユーから。

神父 現地の様子は？

メアリー 知ってるくせに。

神父 全滅か？

メアリー あんたのお気に入りのジョナサンもね。

神父 何だって？ジョナサン？

メアリー そうよ。散々可愛がってたあのジョナサンよ。

神父 まさか。そんなはずはない。

メアリー 活動したいなら祈禱会に参加しなさいって私はちゃんと警告したわ。けど目立

ちたがり屋の母親が私に黙って入隊させたんだから仕方ないじゃない。

神父 助け出そう！まだ間に合うかも知れない。何してるんだ！早く！

メアリー 手遅れよ。ソプラノから先に茹でられたんだから。もうとっくに茹であがってるわ。

神父 確かなのか！？

メアリー 嘘ついてどうするの。

神父 ジョナサン・私の可愛いジョナサン・・・。

メアリー よしなさい。みっともない。

神父 主よ、彼らの罪を許し給え。

メアリー 正直私はほっとしたわ。あの子もそろそろ物事の良し悪しを理解する年頃になってきたからね。いつ何時母親に話すかわからないじゃない。そしたらあんた永久追放よ。内心冷や冷やしてたところ。

神父 彼を愛していたんだよメアリー。

メアリー 不潔ったらありやしない。

神父 だって本当に愛していたんだよ・・・。

メアリー ご愁傷さま。美味しくもなかったでしょうね、あんなチビ。

神父 ジョナサン・私の可愛いジョナサン・・・。

メアリー だまらっしゃい！

神父 主よ、何故ジョナサンを見捨てたのですか・・・。

メアリー そんなことより、頭数が足りないわ。どうするつもり。

神父 ちようど良いのを見つけたところさ。

メアリー 瘦せすぎすじや駄目よ。肉付きがよくないと。

神父 大丈夫。美味しそうな女の子だよ。

メアリー 女の子ですって？

神父 だって男の子はこれ以上送り出せないだろ？男の子は・・・可愛いんだ・・・。

メアリー やれやれ。

メアリー、あたりを注意深く見回す。

人目がないことを確認し、ポケットの中からリングを取り出す。

神父 これだけか。

メアリー これだけよ。

神父 そんなはずないじゃないか。まだあるだろう？十二人も斡旋しただから。

メアリー、渋々隠し持っていた二つ目のリングも出す。

メアリー まったく気楽なもんよね。あんたは呑気に口説くだけ。私はね、断末魔の雄叫びを聞かされるのよ。あんたは何よ、居留守ばかり使って。

神父 わかった、わかった。ごめんよメアリー。私が悪かった。ほら、機嫌を直して。

神父、二つ目のリングをメアリーに握らせる。

神父 シャルロットっていう子だったよ。正にシュルプリーズだね。

メアリー 冗談でしょ。

神父 「シャルロット・ポトフ・シュルプリーズ」。シャルロットの煮込みびっくり風。

メアリー よく言うわ。

神父 ふふふ。

メアリー ふふふ。

二人 ふふふふふふ・・・